



# 自然の中で 生きる力を身につける

兵庫県神戸市北区 NPO法人 Peace & Nature







神戸市の三ノ宮駅からバスに乗り、六甲山を抜けてしばらく高速を走ると、程なく棚田が連なる日本の原風景と言えるような景色に一変し、神戸市北区の大沢地区おおさわに到着する。NPO法人Peace&Nature（代表理事・バハラム・イナナルさん）が古民家を改修して活動拠点とする「大沢ベース」を訪れると、「ピーピー」と気持ちよさげに畑を散歩する烏骨鶏のヒナがお出迎えてくれた。

8月下旬、同会が行う「SDGsサマーワークショップ in 2024」を取材した。野菜収穫、竹の伐採、そうめん流し、収穫野菜の天ぷら作り、すいか割り、座禅などを体験し、最後は参加者同士で平和に関する意見交換も行い、同会の活動テーマ「食と農、環境、人間力」を実践する1日となる。筆者も時折、体験作業に参加させてもらいながらお話を伺った。

はじめに、大沢ベースにある畑で無農薬栽培された多品目の野菜を収穫。2週間のインターンで参加する広島の大學生は「食がどうやって作られているのか興味があって参加した。農作業はじめての経験」と畑を歩く。

竹林の伐採では、はじめにバハラムさんが実演してから参加者一堂取り掛かる。伐採した竹は大沢地区の集会所に運び、鉈で半分に割り、節を削り、流しソーメンの樋を作り、竹カップも作る。人口減少と高齢化により管理が行き届かず不要な竹も多いことから、同会は地区住民と話し合いながら計画的に竹林伐採に取り組んでいる。

参加者の一人から、田舎にある実家の農地の相続に悩んでおり、地域の人との交流をどうするかなど作業をしながらバハラムさんに相談があった。バハラムさんからは、農地を受け継ぎ様々な人を巻き込んでいけばポジティブに活用していける可能性があるかと前向きなアドバイスが送られた。

集会所の料理室では、バハラムさんの奥様（忍さん）と参加の皆さんが収穫した野菜を手際よく天ぷらにして、ゴーヤ、ナス、





オクラ、しし唐、バターかぼちゃなどがずらりと並んだ。準備完了！ そうめんを竹樋の上から流したウガンダ出身のピントさんは「流すのは良いアイデアー楽しい！」と笑顔。昼食のあとは近くの神社境内でスイカ割り。無農薬の甘いスイカをみんなで分け合って食べる。

その後は、集会所に戻り座禅の時間となった。「徹寒」の号を持つ同会副理事の青木幹さんから座禅の作法について説明があり、参加者はみな、調身(姿勢)、調息(呼吸)、調心(精神)を調整して、10分間の座禅を3回行った。希望者のみ青木さんから「警策」で肩を叩く。合掌低頭し、自分に向き合う時間となる。

イラン出身のバハラムさんは、イラン・イラク戦争の経験から平和への希求と日本文化への魅力を感じて20代で来日した。日本人の持つ共生の文化、相手への気遣いが心に響いたという。次第に、自然の一部として暮らす田舎の文化と人間性に魅力を感じるようになった。子どものアレルギーに悩んでいた折、神戸大学名誉教授の保田茂先生と出会いポカシを活用した有機農法について学び、自分の手で安全な食と環境を作ろうと、大沢地区で有機農業と森林環境を守る活動をはじめることとなった。

Peace&Natureは2003年から、未来のグリーンリーダー(現場で自然から学び、地球や社会の課題を知り、解決に向けて行動する人材)の育成を目的として、「食と農、環境、人間力」をテーマにした体験活動を行っている。休耕地を再生して畑の土づくり、お米や野菜づくり、地域で植樹や竹の伐採、間伐材を有効活用した森林・里山保全への取り組み、地域との交流など多岐に渡る。昨年には、起業家育成を念頭にソーシャルビジネスをテーマとした活動にも取り組んでいる。延べ49か国のメンバーが参加し、地域を活性化しながら、若者の成長にもつなげてもらう活動だ。

バハラムさんは日本の農業が持つ可能性として「百姓」という





言葉には100の匠の技があり、何か問題があっても自分たちの手で難題を乗り越える力があることを挙げる。同会の自然体験活動でも、自分の手で無農家の米を作り失敗の経験をする、自分がより強くなるきっかけになると話す。

いま感じていることの一つとして、学校教育の中に「失敗」の要素がないことを危惧している。失敗を恐れて意見を言わない人が多い。大学卒業後に起業家を志す若者が諸外国に比べて少ない。そこで、バハラムさんは未来を担う若者に間違えることは問題ではない。自分の意見を言って化学反応を起こした方がいい。意見を言うことで成長してほしい。若い人にチャレンジしてほしいとエールを送る。

プログラムの最後には、参加者から一人ずつ平和への想いについてコメントの時間となった。

「大沢地区に移住して10年。専業農家を営んでいる地区の人にお世話になった恩返しをしたい。農家の方々の御用聞き、農業のお手伝いや里山全体の保全など自分にできることは多いと思う。そんな感覚が平和につながれば」

「外国人留学生在が日本文化を理解しながら日本人と交流できる交差点になりたい。個人同士で親しくなれば、やがて『Aさんの国』と意識が代わるようになると思う」

「災害や戦争があったとき、自分の知り合いがいれば、その人の家族は大丈夫かなと心配するようになった。少しでもたくさんの人と出会いたいと思う」

初めて出会う人とも、自然の中で体験活動を共有することで、自分の気づきや想いを自然体で述べ合うことができるワークショップ。社会課題を解決していく大きなヒントがたくさん詰まった時間となった。

【連絡先】 NPO法人 Peace & Nature  
 TEL : 078-779-7474  
 メール : info@peace-and-nature.com